

学内での活動

1 教務委員会

年間を通じて、カリキュラムの運用チェックとその改良などに従事した。

2 ATP プロジェクト

「アートを／で考えるプロジェクト」で学生と共にアート批評やアートプロデュースについて研究した。

学外での社会活動（公的）

1 コンソーシアム岐阜公開講座「笑いの世界」

コンソーシアム岐阜における連携活動の一環として一昨年度より展開している公開講座「落語という世界（全三回）」に引き続き、「笑いの世界」と題した公開講座を年間で 15 回行った。

参加者は毎回 50 人ほどで、何件かのマスコミ取材も受けた。

2 ATP（アートを／で考えるプロジェクト）

2012 年 9 月 28 日～11 月 4 日に、大垣市内にて開催された「アートフルタウン大垣 2012」において、IAMAS OS でプロジェクトメンバーの作品展示を行なった。

warai no sekai 2012

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜公開講座 2012 年度

## 「笑い」の世界 ～落語から喜劇まで～

**開催概要**

何をあげ足すまでもなく、人間の生活にとって「笑い」は必要不可欠な表現であり、表現であり、また反応であり、コミュニケーションである。「笑う」という身体動作が、生理学的反応として、また脳内では活性化作用として働かされている一方で、「笑い」は世界を解放し、社会を共に築く。人間関係を改善する。また「笑」の文化には「笑」の歴史がある。「笑い」は文化として人類の歴史を語る。人々の心を豊かにし、文化を「笑い」を通じて伝える。本講座では、2010 年度より行なっていた公開講座「落語という世界」「笑う文化という世界」「笑う文化という世界」の成果と未発表部分をまとめた、新たに整理・加工した講義+史料を講義する。落語についてのさらなる普及と普及に努めます。また、コント、他種のような演劇から落語（舞台、映画、文学）までを含めた大垣「笑いの世界」の歴史をこまかくお話しする。落語の歴史は文化として、「笑い」の歴史。

- 日程：2012 年 4 月～2013 年 3 月の不定期開催日（原則 3 回程度に 1 回、下記開催スケジュールまでご確認ください）
- 時間：午後 6 時 30 分～午後 7 時 40 分（開講：午後 6 時）
- 会場：ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 各拠点（各拠点の協賛会館サテライト会場）（各拠点の協賛会館 協賛会館）
- 受講料：無料
- 定員：50 名（出席者数によっては椅子のみの確保となりますことをご注意ください）

**講師**

1979 年東京生まれ、大阪大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済・経営・政治の三つから見た身体論を構築。専門は組織・人間性、組織文化論、組織文化論、組織文化論。専門は組織文化論の分野に所属している。世界中の人間と同じ場所であったことが自慢。主著に『笑い論の現在』、『笑い論の現在』など多数。

講師 小林昌廣

